



2019年11月27日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス  
代 表 者 代表取締役社長 榊沢 徹  
(JASDAQ・コード6838)  
問合せ先 経営企画部 徳本 潤弥  
電話番号 03-6435-6933

## 「2019年度二国間クレジット制度資金支援事業のうち 設備補助事業」の採択に関するお知らせ

当社は、既にお知らせのとおり、事業パートナーである AURA-Green Energy 株式会社とインドネシアにおいて小水力発電事業(1.75MW)に取り組んでおり、この度、環境省および同省執行団体である公益財団法人地球環境センター(GEC)が公募した「2019年度二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」に共同事業者として申請を行い、採択されましたことをお知らせいたします。

### 記

#### 【採択案件の概要】

案 件 名： インドネシア東ヌサ・トゥンガラ州における 1.75MW 小水力発電プロジェクト  
パ ー ト ナ ー 国： インドネシア共和国  
想定 GHG 排出削減量： 6,856tCO<sub>2</sub>/年  
代 表 事 業 者： AURA-Green Energy 株式会社  
共 同 事 業 者： PT.GISTEC PRIMA ENEGINDO

本プロジェクトは、インドネシア・東ヌサ・トゥンガラ州のフローレス島の Wae Lega 川(流域面積:20K m<sup>2</sup>)に 1.75MW の小水力発電施設を導入し、インドネシア国有電力会社に対して売電を行い、温室効果ガス(GHG)の削減や、JCM クレジットの獲得による我が国の GHG 削減に貢献するものです。

東ヌサ・トゥンガラ州の電化率は 61.9%とインドネシア国内で最も低い地域であるため、本事業による電力普及の早期実現が望まれております。

また、本事業においては、2019年7月10日にお知らせいたしましたグリーンエネルギー余剰電力活用システム「GEMCOS」の導入を予定しております。GEMCOS は、余剰電力を蓄電・整電し、使用機器に最適な電力の供給を可能にするシステムで、電気供給が十分でない当該地域における非常用電源や、自動車等バッテリーの充電の他、スマートアグリ等地域新産業育成への利活用方法を検討しています。

当社グループは、これからも CO2 削減、地球温暖化への対策に取り組み、SDGs 社会変革に対応できる事業体制の構築に向けて取り組んでまいります。

尚、本事業の詳細につきましては順次ご報告させていただきます。

#### 【二国間クレジット制度(Joint Crediting Mechanism:JCM)】

日本の持つ優れた低炭素技術や製品、システム、サービス、インフラを途上国に提供することにより、途上国の温室効果ガスの削減など持続可能な開発に貢献し、その成果を二国間で分け合う制度。

JCM によって、温室効果ガスの排出削減・吸収への日本の貢献を定量的に評価が可能となり、日本の排出削減目標の達成に活用するものです。

以 上